

テーマ「中学受験」

日時：9月25日（日）

場所：栄オアシス校

対象：中学受験生とその保護者

◆講演1／講師 田中 ■■

大学入試改革に向けて中学入試も変わる

日本では2020年、4年後に大学入試改革が控えています。それに伴い教育現場では様々な対策が行われており、中学入試も去年から変化の兆しが現れ始めています。具体的な例をあげてみます。

名古屋中学ではグローバル選考入試が始まりました。帰国子女枠の他に大学のAO入試に当たる自己推薦枠があり、全国大会出場歴や特技をアピールできれば海外経験がなくても優先的に合格枠が与えられます。そんなことも関係し、全体で中学受験者が減っている中でも名古屋地区はそれほど落ちていません。関東圏や関西圏に比べて私立が多いわけはありませんが、限られたパイの中でその層が根強く残っているとと言えます。

名古屋地区と少し離れますが、星城中学では英語を入試科目として認めるようになりました。名古屋国際中学では以前からですが、今後は名古屋市内の伝統校もそうなる可能性があります。

聖霊中学ではBAP選考入試という、入学意思を伝えただけで国語・算数で受験する入試が始まりました。なお、これは自己推薦になるため、合格したら基本的に辞退ができません。

男女トップ校の変化にも注目

南山中学女子部では受験者数が2年ぶりに700名台になりました。以前は600名台で、その時も競争率は3倍とかなり高かったのですが、去年は70名増の744名で4.16倍になりました。これも大学入試改革の影響ではと考えられます。改革の要旨は、知識偏重に陥らない、世界の優秀な人材と肩を並べて活躍できる人材を育てたいということです。優秀な生徒の中で切磋琢磨してその力をつけたいという方が多かったのではと思います。

また、春頃に情報が出ていたのが東海中学の定員減です。400名から360名へ、男子校トップの定員が減るというニュースに激震が走りました。実際の合格者ベースでは50名程の減になると思われ、玉突き現象のように、後に続く滝中学、追いつき追い越せで頑張っている名古屋中学、近年結果を出している愛工大附属中学などにも影響が出ると思われま

す。男の子は特に受験の競争率が上がってくると考えられ、心して準備する必要があります。

インターネット出願や午後入試の導入

大学入試や一部の私立高校では普通になってきたインターネット出願が、滝や南山を含めた 7 校で導入され、手元に願書がなくても、締切りギリギリでも申し込みができるようになりました。利用する場合は、ネット環境に慣れていても、手続きのシミュレーションを事前においた方が安全だと思います。

優秀な生徒を集めたいということで、首都圏では一般的になっている午後入試が市邨中学で取り入れられ、愛工大附属中学でも来年度、3 教科の他に理科・社会が選択という小学生 B 枠が午後実施されることが決まっています。たとえば午前に愛知中学を受け、午後に愛工大附属中学の B 枠を受けるということも可能です。ただし B 枠は合格したら基本的に辞退ができません。

実質の競争力はややアップ

問われる自己解決力や人間力

このような変化が出ていることから実質的な競争率としては決して落ちておらず、むしろ微増という感覚です。特に上位校は小手先の対策では合格できません。私立中・高も新しい大学入試を鑑み、ちょっと人よりも知識を多く覚えたからといって入れる学校にはしないはずで、自分で課題やその解答を創り出し、また、それをアピールしていくような人材を求める方向性です。入試に協調性を見るものを盛り込みたいという答申も出ていました。総合的な人間力も問われますが、一定の時間だけ嫌々勉強したのでは人間力はつきません。色々な事に興味を持ちながら、どこが自分に合う学校かを自分なりに考え、「これがやりたいから来ました」とはっきり言えるような準備をし、入試に挑んでいただけたらと思います。あと約 100 日。一瞬一瞬を大切に過ごしてください。

◆講演 2 / 責任者 森浩晃

頭を使うゲームで育む“解く力”の基

皆さんにお聞きます。将棋ができる人は？週に何度か指す人は？オセロができる人は？碁はどうですか？

昨日、年長さんのクラスでゲームをやらしてもらいました。マルバツのボードゲームで、3 つ並んだら勝ちというものです。先攻のマルが自分なら、最初にどこに打ちますか？真ん中ですね。理由が言えますか？また次のバツだったらどこに打ちますか？最初に真ん中に

打ったら勝てるパターンが 4 つできます。他の場所は 3 パターンしかできません。それを瞬間に考えるゲームです。ルールを説明したらパッと理解できる子、そうでない子がいます。皆さんにこういったゲームに強くなってほしいのです。これが算数や理科、あるいは社会の問題を解いていく力の基になります。たとえば輸出入に関する問題。レアメタルを輸入している方によると、輸入先はモンゴルとフィリピンだと言います。そんな会話を日常的にしなら、こういったゲームで育まれる力を使うことで、問題を解くことができます。

眠っても取れないのが脳の疲労だと言い、それが溜まるとやる気がなくなります。では、その疲労をどう取ればいいのか。一番は仲のいい友達と話をすること。一方、テレビやスマホのゲームは百害あって一利なしです。できるだけ遠ざけてください。そういったゲームではなく、ボードゲーム、将棋や碁、オセロといった頭を使うゲームを日常的にやっただくと良いのです。僕自身、小さい頃にやっていたおかげで数学が好きになったことを思い出しました。将棋も父に教えてもらいました。

年長さんでもゲームを通して将来の兆しが見えています。そんな中で驚くのが、年長さんの多くが「引き分けでよかったね」と言うことです。お互いに傷つかないから。国際競争の中、日本は危ないですね。ゲーム、受験で勝つために努力し、頭を使い、それが向上につながります。受験勉強のすき間にでも賢くなるゲームをぜひやってください。

「普段以上」を引き出せるように

本当に頭が動き出すのは起床 3 時間後とされています。試験の開始時間を考え、その 3 時間前に起きる習慣作りはそろそろ始めてください。誤答率が高いのが最初の問題です。開始直後に頭がフル回転できる状態になっていないからで、失点につながる可能性があります。試験問題を解く時には力がみなぎっていないといけません。溢れる闘争心のようなものが、勝負に勝つために必要です。人間の頭は認識している以上の容量があり、必死になれば解けそうになかった問題が解ける場合も出てきます。力み過ぎないのも重要で、冷静に考えるには副交感神経の働きをよくすることが必要。それを高めるには、手をギュッと握ってしっかり開くという動作が有効です。勉強する時に毎回やってください。

中学入試も大学入試に合わせて変わっていきます。高校入試の問題例では、ある文章についての不適切な説明を選ぶというものがありません。そういった問題が中学入試でも入ってくる可能性があります。論理的に考え、覚えた知識をそのままではなく、組み合わせで解答を導き出すことが必要となるように変化していくと考えられます。

◆講演 3 / 責任者 森幸子

深く掘り下げていく勉強が必要

計算を簡単にやる方法があります。 15×12 。わかる人。 $15 \times 10 + 15 \times 2$? 正解。他にもないですか? また、これは南山小 5 年の頑張りタイム、制限時間 5 分の問題です。円の面積は半径×半径×3.14 ですが、なぜそうなるのか図に書いて 2 通り解説してください。と、学校で教えてもらっていないことも問題に出ています。

高校受験説明会で使った資料を配りました。このように問題が変わるという例題で、中学入試でも大学入試でもこうした傾向にあり、文章がどんどん長くなります。読むスピードと、正確に読む、自分の中に落とし込む力が大切になってきます。中高一貫校では、深く思考する人間を作っていこうとしています。だから深い勉強が必要です。

勉強して偏差値が上がります。今回 70 を取った子もいましたが、南山女子はもうちょっと取らないと受からないですね。72、3 なら安心かな。ただ南山小から何人来るかで微妙に変わります。だから 72、3 を目指しながら、深い勉強をするべきなのがこの時期。合っていた、わかった、だけでは中学入試は受かりません。なぜなら同じ問題は出ないからです。

年長さんにボードゲームを実施したのは、頭の回転を早くするため、深く考えないで発言する子が多いので集中力を高めるため。加えて、社会性を高めるためです。策を調べる中でボードゲームにたどり着きました。埼玉県の小学校でも、色んな形を埋めていくものを取り入れています。負けても次に頑張ることができる子を育てるため、多くの学校がボードゲームに注目しています。関連する問題が皆さんの中学入試で出てくるかもしれません。

今年はオリンピックがありました。リオデジャネイロはどこにあるの? 地図に描いてもらいましたね。できなかつたらどうしますか? ここなんです。私たち大人も含め、できなくても、まあいいや、では次のステップに行きません。何回もやって、何も見ず描けるようにしていくのが勉強です。

昨日 6 歳の子に「カッコいいポーズをやって」と言いました。「誰のポーズなの?」「ボルトだよ」。この中で、ボルトが何の選手かわかる人。走る人? 陸上選手? 何の? こういったことも深く知っておいて、はっきりと正確に言えないと、マルはもらえません。

宇宙人しか合格できない!?

冒頭の円の問題。困った親御さんからファクスが来て、先生たちが教え、できるようになったらまたテストがあります。南山女子を受ける子は覚悟しておいた方がいいです。その先にあるのですから。だから偏差値が上がっています。南山女子の先生が言いました。「昔は天才が来ました。今は宇宙人しか入れません」。世界を俯瞰できるぐらいにならないといけないうことです。なぜこんな問題を出したのかまで考える。そこまで勉強しないといけないうのです。自分はどこの学校へ行きたいの? ご両親はそこでどうさせたいのですか? 中・高に入って終わりではありません。どんな人間になりたい、育てたいのかを考えてください。

受験で一番難しいのは中学入試、大学入試です。これらは落とす試験、高校受験は合格

させる試験と言われます。心してください。今やっている問題は、お正月辺りではもう出て来ません。どこかで復習できると思っただけはいけませんよ。

世界の動きを知っておく

リオデジャネイロへ日本からどうやって行くかまで知っておかないと、出ますよ。名古屋から松本に何時に行くには何時何分のどの電車に乗ればいいのか、時刻表を見て答えるという問題が何年か前に出ています。時刻表も生活の中にないといけない。うちには 3 種の神器、望遠鏡、顕微鏡、時刻表に加えて四季報もありました。

ある人が言いました。「小学生になったら四季報を見て、世の中の動きがわかるようにしなさい。それなしに勉強しても偏差値だけの人間になってしまうから」。暗黙知です。常識を入れておかないと、中学や高校で本当のお友達はできません。どの株を幾らで買い、どこで手放すか、中学受験をする子はわかってないと社会の問題が解けません。

室町時代と鎌倉時代の戦いの違いを書きなさいという問題もありました。何年に何があったというのは暗記だけ。鎌倉時代はなぜ起こったのか？誰を中心に？その時の文化は？そうやって勉強していかないと、宇宙人でないと受からない。中学入試はそうやってきています。

南山女子では一昨年、ゴッホが出ました。今度は誰が出ると思う？今、新聞でも話題になっているでしょ？新聞の片隅や電車のポスターなど、一杯ヒントがありますよ。

残りはおよそ 100 日

今やるべきことは何ですか？

新演習は個別指導塾のための四谷大塚系の問題集です。解けて当たり前、上だけやっている子は落ちます。特に国語の文法、最後は時間切れでやってない子が多いのでは。でもこれは得点源です。先にあげたような問題と違い、覚えておけば解けるんです。これを外して、点が足りないと落ちます。日曜の朝にやってください。

受かりたい子は、新演習の国語を最後までやる。計算日記も下までやる。漢字日記をやる。筆圧を強くする。簡単な計算ミスをしている子、漢字の書けない子、筆圧の弱い子は必ず落ちます。新聞にも書いてありましたが、今の小学生は筆圧が弱く、6B を使っている子がいるそうです。弱いなら強くする、HB を 2B、4B、6B にしてあげてください。そして、落とそう、落とそうとしているのが中学入試だから、「受かる」と思っていないとダメです。引き分けでいいという子は受かりません。

自分が今、何をやらなくてはいけないかわかりましたか？お父さん、お母さん、先生に褒められるのを待っていないで、自分で自分を褒めるんだよ。あと 100 日。早起きの練習をしておかないと遅刻しますよ。去年、「受付に間に合わなかった」と泣きながらの電話がありました。でも、いつも通りの生活で遅れたのです。生活をよく見直してくださいね。